ドライブレコーダー

vi:əCam（ビーカム）シリーズ共通

P. S. J. 株式会社（ピーエスジェイ）

常時電源配線接続要領書（2012. 07. 23 改訂）

このたびは、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
本書は、ヒューズボックスから常時電源を接続し、お車のエンジン停止時でも、録画をご希望のユーザー様への配線接続要領書です。本書を、最後までよくお読みになり、正しく接続のうえご使用ください。
なお、お車の「取扱説明書（取扱書）」も、よくお読みください。

＜警 告＞感電事故・負傷事故・死亡事故・車両火災などの防止のため、作業前に必ずお読みください。

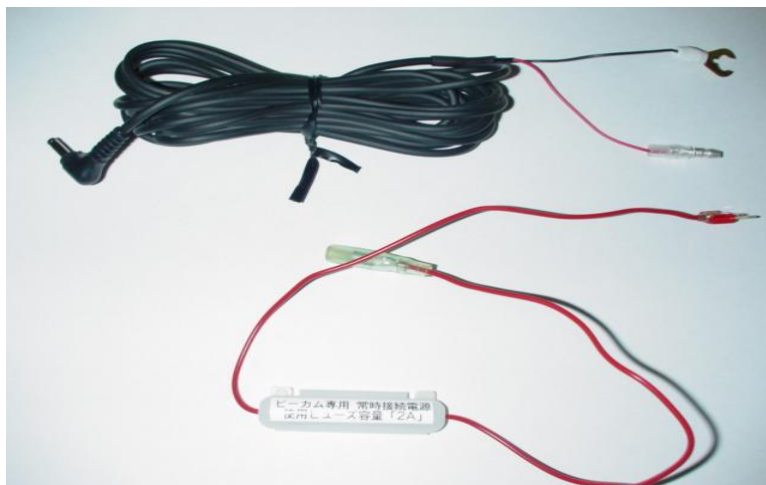
１． 感電事故や車両火災などを防ぐため、必ず作業前に、お車のエンジンを停止し、バッテリーターミナルのマイナス（－）側を外してください。
２． ケガ防止のため、作業帽・保護メガネ・手袋などを、必ず着用してください。
３． 車種によってはバッテリーの再接続後に、電動パワーステアリング・パワーシート・カーナビ・オーディオ・パワーウインドウなどの、再設定が必要です。配線接続作業に自身のない方は、決して無理をせず、自動車修理工場様などの専門業者様に、作業を依頼してください（作業料は有料です。事前にご確認ください。）。
４． 配線接続作業および、作業後の事故などによる、物的・人的損害について、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

＜配線作業要領＞

１． お車の「取扱説明書（取扱書）」から、事前に下記の項目を調べます。
- 常時電源のヒューズ『例：ラジオなど、万一、走行中にヒューズが切れた場合でも、安全な走行に支障の出ない常時電源のヒューズ』をお選びください。
  ヒューズの容量（アンペア Ａ）。ヒューズの形状（ミニ平型ヒューズ・低背ヒューズ など）。

２． カー用品店などで「ヒューズ電源（エーモン製）」をご購入ください（※）。

※「ヒューズ電源（エーモン製）」は、必ずお車と同じ容量（アンペア Ａ）・同じヒューズ形状のものをご購入ください。

３．「ヒューズ電源（エーモン製）」に付属の、白い筒に貼られている、銀色のシールをはがして、中に入っているガラス管ヒューズを、「２Ａ（アンペア）」のガラス管ヒューズに交換してください。

４.「ヒューズ電源（エーモン製）」を、お車のヒューズボックスに差し込みます。

５.「ドライブレコーダー vi:əCam（ビーカム）」本体に、ＤＣプラグを差し込みます。

６．配線に無理な力が加わらないようにしながら、フロントガラスやピラーのすきまに挟み込み、
配線を行ってください。

７．ヒューズボックスの手前までの配線ができた時点で「黒色のコード（－）」のクワ型端子を、
ヒューズボックス付近の金属部分に、ボディーアースをします。他の部品を固定している
「金属製のボルトまたはナット」で、しっかり固定してください（樹脂ボルトは不可）。

８.「赤色のコード（＋）」のキボシ端子を「ヒューズ電源（エーモン製）」のキボシ端子に、
しっかり差し込みます。

９．配線が余った場合は、束ねて足元に落下しない位置に、結束バンドで確実に固定します。
このとき、他の金属部品と干渉すると、振動などにより配線の被覆が傷付き、ショートや発火の
おそれがありますので、配線を保護するために緩衝材などをご使用ください。

＜作業後の安全確認＞

１．配線は確実に行いましたか？　２．ヒューズボックスのふたは、確実に閉めましたか？

３．工具などを置き忘れていませんか？　４．余分な配線がはみ出していませんか？

５．その他、気がかりなことはありませんか？

＜機器の動作確認＞

バッテリーターミナルのマイナス（－）側をしっかり接続してください。

この時点で「ドライブレコーダーvi:əCam （ビーカム）」本体が起動すれば、配線作業は完了です。起動しない場合はもう一度、バッテリーターミナルのマイナス（－）側をはずしてから、各接続部を点検してください。

＜動作確認後の安全確認＞

１．バッテリーターミナルのマイナス（－）側をしっかり接続しましたか？

２．ボンネット内に、工具などを忘れていませんか？

３．お車の電動パワーステアリング・パワーシート・パワーウインドウなどの、再設定は行いましたか？

４．走行時および停車時に、異音・配線が焦げたようなニオイなどはありませんか？

５．その他、気がかりなことはありませんか？

＜お問い合わせ＞

P.S.J.株式会社（ピーエスジェイ）〒532-0033 大阪市淀川区新高 1-15-34-903　TEL＆FAX　06-6391-1128